学校番号	T0108

令和３年度　商業科

教科	商業	科目	ビジネス実務	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	「ビジネス実務　新訂版」　（東京法令出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ワープロソフトの応用的な活用方法や、企業の組織と仕事など知識や技術を活用してビジネスの諸活動を円滑に行う能力と態度を学習します。
休まず、積極的に学習活動に参加してください。

2　学習の到達目標

①企業の組織形態、職業人としての心構えなどを身につける。
②企業におけるビジネスマナーやビジネスコミュニケーションを習得し実践できる。
③オフィス実務や税務申告、珠算についての基礎的な知識を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・ビジネス実務に広く関心をもち、その意義や役割の理解及び諸問題の探求を目指して意欲的に取り組むとともに、ビジネスの諸活動を適切かつ計画的、合理的におこなう能力と態度を身につけている。	・ビジネスの諸活動における諸問題を的確に把握し、自ら思考を深め,基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。	・ビジネス実務に関する基本的な知識と技術を身につけ、それらを適切に活用してビジネスの諸活動にかかわる事柄を処理できる。	・ビジネス実務に関する基本的な知識と技術を身につけ、ビジネスの諸活動の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・課題作成 ・出席状況	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・課題作成 ・定期考査	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・課題作成	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・課題作成 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	企業の組織と仕事　職業人としての心構え	■企業の概念 ■株式会社の仕組み ■企業の組織形態 ■職業意識 ■雇用形態 ■人事管理	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:企業の概念や私企業の企業形態、職業意識などについて関心を持ち、自分自身の意見やイメージをまとめようとし、働く目的とは何かを理解しようと努力している。 b:企業の概念や企業形態、雇用のミスマッチなどを解消するために必要な職業意識などについて進んだ情報を収集したり整理しようとしている。また、その結論を口頭や文章で表現できる。 c:企業の概念や企業形態、職業意識などを理解し、その仕組みや具体例をあげて説明することができる。 d:企業の概念や企業形態、勤労観と職業観、働く目的などに関する基本的な知識を理解している。	・授業観察 ・プリント
	ビジネスコミュニケーションとビジネスマナー	■コミュニケーションの定義 ■ビジネスマナー	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:ビジネスの諸活動の状況に応じた正しいコミュニケーションをはかるための一定のルールであるビジネスマナーに関心を持ち、理解しようと努力している。 b:ビジネスマナーについて、進んで情報を収集したり整理しようとしている。また、その結論を口頭や文章で表現できる。 c:ビジネスマナーの具体例をあげて説明することができる。 d:ビジネスマナーの役割について理解している。	・授業観察 ・プリント ・課題作成 ・実技テスト

後期	情報化とオフィス実務　税の申告と納付	■情報社会と情報リテラシー ■ファイリングの基本 ■オフィス実務の情報化 ■私たちの生活と税金 ■法人税の概要 ■消費税の仕組みと計算	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:情報機器の操作能力だけでなく、それらを活用する能力が必要となることや、税の意識や種類について関心を持ち、理解しようとしている。 b:情報リテラシー、税の意識や役割・種類を考えたり、さらに問題点についても見出そうとしてる。またその結論を口頭や文章で表現できる。 c:情報リテラシーや税の種類などについて、具体例をあげて説明することができる。 d:情報機器の操作能力だけでなく、それらを活用する能力が必要なことを認識し、税の意義や種類について理解し、それらを活用する能力が必要となることについて認識している。	・授業観察 ・プリント ・課題作成 ・定期考査
	ビジネスと珠算	■計算の基礎 ■珠算 ■暗算	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:珠算の歴史や役目、そろばんの名称や珠算の活用方法の実践、珠算式暗算や筆算式暗算などの特徴と計算方法について理解しようと努力している。 b:珠算の歴史、そろばんの名称や珠算の活用方法の実践、珠算式暗算や筆算式暗算などの特徴と計算方法などを説明することができる。 c:珠算の活用方法の実践。珠算式暗算や筆算式暗算などの計算方法を適切に活用できる。 d: 珠算の歴史、そろばんの名称や珠算の活用方法の実践、珠算式暗算や筆算式暗算などの特徴と計算方法などについて理解している。	・授業観察 ・プリント ・課題作成 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。